



## 平成23年2月期 第1四半期決算短信

平成22年7月14日

上場取引所 東大札福

上場会社名 松竹 株式会社  
 コード番号 9601 URL <http://www.shochiku.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役  
 四半期報告書提出予定日 平成22年7月14日  
 配当支払開始予定日

(氏名) 迫本 淳一  
 (氏名) 油谷 昇

TEL 03-5250-2354

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年2月期第1四半期の連結業績(平成22年3月1日～平成22年5月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年2月期第1四半期	23,569	0.8	2,232	725.5	1,722		868	278.4
22年2月期第1四半期	23,761		270		60		229	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
23年2月期第1四半期	6.70	
22年2月期第1四半期	1.85	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
23年2月期第1四半期	171,260	64,316	37.4	486.61
22年2月期	156,079	57,544	36.7	463.19

(参考) 自己資本 23年2月期第1四半期 64,094百万円 22年2月期 57,324百万円

### 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
22年2月期		0.00		3.00	3.00
23年2月期					
23年2月期(予想)		0.00		3.00	3.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成23年2月期の連結業績予想(平成22年3月1日～平成23年2月28日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期	42,700	8.2	1,570	19.3	730	41.0	50	93.9	0.38
連結累計期間	88,000	5.6	3,000	13.1	1,280	34.8	330	53.9	2.51

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有  
新規 1社 (社名 KSビルキャピタル特定目的会社 ) 除外 社 (社名 )  
(注)詳細は、4ページ「[定性的情報・財務諸表等] 4. その他」をご覧ください。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
(注)詳細は、4ページ「[定性的情報・財務諸表等] 4. その他」をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

会計基準等の改正に伴う変更 無  
以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年2月期第1四半期	133,655,578株	22年2月期	125,695,578株
期末自己株式数	23年2月期第1四半期	1,938,573株	22年2月期	1,933,326株
期中平均株式数(四半期連結累計期間)	23年2月期第1四半期	129,729,858株	22年2月期第1四半期	123,806,364株

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、予想数値と異なる場合があります。

## 定性的情報・財務諸表等

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、国内外における景気対策の効果により一部回復の兆しが見られるものの、欧州を中心とした金融市場の変動、雇用情勢、所得環境の悪化やデフレなどにより個人消費は低迷を続け、依然として厳しい状況で推移いたしました。

このような状況下、当企業グループはより一層の経営の効率化を図り、積極的な営業活動を展開いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間は、売上高23,569百万円(前年同期比0.8%減)、営業利益2,232百万円(同725.5%増)、経常利益1,722百万円(前年同期は経常損失60百万円)となり、特別利益10百万円、特別損失16百万円を計上し、四半期純利益は、868百万円(前年同期比278.4%増)となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

## (映像関連事業)

映像関連事業におきましては、配給は、「NINE」「矢島美容室 THE MOVIE ~夢をつかまねバダ~」が健闘いたしました。期待の成果を残せず、厳しい結果となりました。興行は、新宿ピカデリーが高稼働し、その他のシネコンも高収益をあげました。テレビ制作、映像ソフト、テレビ放映権販売等は堅調に推移いたしました。

この結果、当第1四半期連結会計期間の売上高は12,102百万円(前年同期比17.3%減)、営業損失は170百万円(前年同期は営業利益18百万円)となりました。

## (演劇事業)

演劇事業におきましては、歌舞伎座は、「歌舞伎座さよなら公演」が有終の美を飾り高収益をあげました。新橋演舞場「五月花形歌舞伎」、大阪松竹座「團菊祭五月大歌舞伎」他、四国こんびら歌舞伎大芝居の巡業も好稼働しました。また、日生劇場「滝沢歌舞伎」「眠狂四郎無頼控」など新しい試みの公演も健闘し、収益に寄与いたしました。

この結果、当第1四半期連結会計期間の売上高は6,978百万円(前年同期比16.7%増)、営業利益は857百万円(同389.8%増)となりました。

## (不動産事業)

不動産事業におきましては、築地松竹ビル(ADK松竹スクエア)、有楽町センタービル(有楽町マリオン)、新宿松竹会館等が順調に推移し安定収益の確保に貢献したほか、歌舞伎座建替え承諾に伴う収益により、増益となりました。

この結果、当第1四半期連結会計期間の売上高は2,918百万円(前年同期比81.0%増)、営業利益は1,984百万円(同172.0%増)となりました。

## (その他の事業)

その他の事業におきましては、プログラム・キャラクター商品販売は、「アリス・イン・ワンダーランド」「劇場版 銀魂 新訳紅桜篇」等が好稼働し、貸衣裳事業、清掃事業及び舞台大道具製作事業は堅調な成績をあげております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の売上高は1,568百万円(前年同期比2.0%増)、営業利益は266百万円(同12.3%増)となりました。

当第1四半期連結会計期間において、映像関連事業とその他の事業との間で一部セグメントの事業区分の変更をおこなっているため、前年同期の数値は当第1四半期連結会計期間の事業区分に従って前第1四半期連結会計期間の数値を組み替えたものを使用しております。なお、詳細につきましては「5. 四半期連結財務諸表 (5) セグメント情報」をご参照ください。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

### (1) 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ15,181百万円増加し、171,260百万円となりました。これは主にK Sビルキャピタル特定目的会社の新規連結に伴う建設仮勘定（責任財産限定対象）及び長期前払費用（責任財産限定対象）の増加等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ8,408百万円増加し、106,943百万円となりました。これは主にK Sビルキャピタル特定目的会社の新規連結に伴う社債（責任財産限定）の増加等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ6,772百万円増加し、64,316百万円となりました。これは主に増資による資本金及び資本剰余金の増加等によるものであります。

### (2) キャッシュフローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は17,180百万円となり、前連結会計年度末に比べ947百万円の減少となりました。

当第1四半期連結会計期間末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は1,962百万円（前年同期比18.7%増）となりました。これは主として、減価償却費995百万円の計上、たな卸資産の減少518百万円、仕入債務の増加694百万円等によるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は16,790百万円（前年同期比450.4%増）となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出8,989百万円、長期前払費用（責任財産限定対象）の取得による支出4,611百万円等によるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は13,880百万円（前年同期比311.7%増）となりました。これは主として、社債（責任財産限定）の発行による収入9,952百万円及び株式の発行による収入6,101百万円等によるものであります。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、第1四半期における業績が概ね予想通りに推移しており、現時点では平成22年2月決算短信（平成22年4月19日付公表）において発表いたしました業績予想からの変更はありません。

## 4. その他

### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

当社は、平成22年3月18日付でK Sビルキャピタル特定目的会社に新規で出資を行い、これに伴い、優先出資の額が当社の資本金の額の100分の10以上に相当するため特定子会社に該当することとなりました。

### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 簡便な会計処理

#### 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

#### 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年5月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,552,126	17,729,494
現金及び預金(責任財産限定対象)	2,616,758	960,556
信託預金(責任財産限定対象)	3,588,366	3,470,715
受取手形及び売掛金	6,762,977	6,726,723
有価証券	4,201,130	800,949
商品及び製品	1,766,654	1,903,590
仕掛品	585,144	970,818
原材料及び貯蔵品	87,496	83,476
その他	3,627,597	3,225,426
貸倒引当金	25,261	33,398
流動資産合計	36,762,992	35,838,354
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	21,304,074	20,989,686
信託建物(責任財産限定対象)(純額)	14,756,800	14,939,942
設備(純額)	15,092,258	15,101,424
土地	23,524,560	22,964,586
信託土地(責任財産限定対象)	18,751,834	18,751,834
建設仮勘定(責任財産限定対象)	7,498,321	-
その他(純額)	4,567,230	4,707,139
有形固定資産合計	105,495,080	97,454,615
無形固定資産		
のれん	672,186	765,349
その他	1,806,439	1,567,046
無形固定資産合計	2,478,625	2,332,396
投資その他の資産		
投資有価証券	11,320,825	10,240,308
長期前払費用(責任財産限定対象)	4,416,300	-
その他	10,976,349	10,437,880
貸倒引当金	222,216	224,518
投資その他の資産合計	26,491,258	20,453,669
固定資産合計	134,464,964	120,240,680
繰延資産	32,310	-
資産合計	171,260,268	156,079,035

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年5月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,194,328	7,499,418
短期借入金	682,600	2,340,100
1年内償還予定の社債	-	1,300,000
1年内返済予定の長期借入金	4,860,508	6,051,208
1年内返済予定の長期借入金(責任財産限定)	740,000	735,000
未払法人税等	261,393	255,280
賞与引当金	206,982	393,469
その他	6,357,864	7,341,366
流動負債合計	21,303,677	25,915,843
固定負債		
社債	1,100,000	-
社債(責任財産限定)	10,000,000	-
長期借入金	35,807,623	34,328,886
長期借入金(責任財産限定)	29,240,000	29,425,000
退職給付引当金	1,147,570	1,196,585
役員退職慰労引当金	638,077	624,769
その他	7,706,801	7,043,670
固定負債合計	85,640,072	72,618,911
負債合計	106,943,749	98,534,755
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	31,216,255	28,143,695
資本剰余金	28,264,553	25,199,919
利益剰余金	5,754,389	5,259,407
自己株式	1,239,930	1,235,784
株主資本合計	63,995,266	57,367,237
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	99,348	42,333
評価・換算差額等合計	99,348	42,333
新株予約権	71,712	72,542
少数株主持分	150,191	146,833
純資産合計	64,316,518	57,544,279
負債純資産合計	171,260,268	156,079,035

( 2 ) 四半期連結損益計算書  
( 第 1 四半期連結累計期間 )

( 単位 : 千円 )

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成21年 3 月 1 日 至 平成21年 5 月31日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成22年 3 月 1 日 至 平成22年 5 月31日)
売上高	23,761,946	23,569,106
売上原価	14,533,180	12,367,600
売上総利益	9,228,765	11,201,506
販売費及び一般管理費	8,958,352	8,969,233
営業利益	270,413	2,232,272
営業外収益		
受取利息	21,311	16,450
受取配当金	287	110
負ののれん償却額	14,537	12,252
持分法による投資利益	1,916	-
その他	75,633	74,539
営業外収益合計	113,686	103,353
営業外費用		
支払利息	350,024	380,983
借入手数料	47,045	38,747
持分法による投資損失	-	23,180
その他	47,254	170,049
営業外費用合計	444,324	612,961
経常利益又は経常損失 ( )	60,224	1,722,665
特別利益		
貸倒引当金戻入額	35,363	10,305
特別利益合計	35,363	10,305
特別損失		
固定資産除却損	134,775	16,369
投資有価証券評価損	13,124	-
減損損失	139,737	-
特別損失合計	287,637	16,369
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 ( )	312,498	1,716,601
法人税、住民税及び事業税	212,169	292,297
法人税等調整額	715,385	551,509
法人税等合計	503,216	843,807
少数株主利益又は少数株主損失 ( )	38,803	4,209
四半期純利益	229,521	868,584

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失( )	312,498	1,716,601
減価償却費	972,415	995,095
減損損失	139,737	-
のれん償却額	108,308	92,492
賞与引当金の増減額( は減少)	216,141	186,487
退職給付引当金の増減額( は減少)	26,471	49,015
役員退職慰労引当金の増減額( は減少)	13,525	13,308
貸倒引当金の増減額( は減少)	12,025	10,438
受取利息及び受取配当金	21,599	16,561
支払利息	350,024	380,983
持分法による投資損益( は益)	1,916	23,180
固定資産除却損	134,775	16,369
投資有価証券売却及び評価損益( は益)	13,124	-
売上債権の増減額( は増加)	1,455,348	36,254
たな卸資産の増減額( は増加)	856,231	518,589
仕入債務の増減額( は減少)	995,819	694,910
その他	571,457	1,355,549
小計	2,186,413	2,797,223
利息及び配当金の受取額	25,050	21,309
利息の支払額	296,651	383,523
法人税等の支払額	261,451	292,197
解約金の支払額	-	180,000
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,653,360	1,962,812
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	243,512	404,841
定期預金の払戻による収入	393,114	334,562
現金及び預金(責任財産限定対象)の増減額( は増加)	196,108	1,656,134
信託預金(責任財産限定対象)の増減額( は増加)	122,509	117,650
有価証券の取得による支出	2,500,000	-
有形固定資産の取得による支出	829,336	8,989,517
無形固定資産の取得による支出	59,420	277,118
投資有価証券の取得による支出	-	367,500
投資有価証券の売却による収入	49,791	-
関係会社株式の取得による支出	-	700,000
貸付けによる支出	4,600	850
貸付金の回収による収入	95,734	35,338
長期前払費用(責任財産限定対象)の取得による支出	-	4,611,506
その他	25,862	35,492
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,050,492	16,790,711



(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年3月1日 至 平成21年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年3月1日 至 平成22年5月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	1,021,000	1,657,500
長期借入れによる収入	1,000,000	2,500,000
長期借入金の返済による支出	1,213,769	2,211,963
長期借入れ(責任財産限定)による収入	31,000,000	-
長期借入金(責任財産限定)の返済による支出	25,999,500	180,000
社債の発行による収入	-	1,077,927
社債の償還による支出	-	1,300,000
社債(責任財産限定)の発行による収入	-	9,952,838
株式の発行による収入	-	6,101,922
リース債務の返済による支出	4,506	27,065
自己株式の取得による支出	18,344	5,339
自己株式の売却による収入	547	1,230
配当金の支払額	371,114	370,765
少数株主への配当金の支払額	854	854
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,371,458	13,880,432
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	-
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	1,974,324	947,466
現金及び現金同等物の期首残高	11,610,760	18,127,921
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	8,396	-
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	57,344	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,536,136	17,180,455

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間(自平成21年3月1日至平成21年5月31日)

	映像関連 (千円)	演劇 (千円)	不動産 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	13,629,667	5,979,087	1,612,822	2,540,369	23,761,946	-	23,761,946
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	33,610	14,777	75,914	882,236	1,006,538	(1,006,538)	-
計	13,663,277	5,993,865	1,688,737	3,422,605	24,768,485	(1,006,538)	23,761,946
営業利益又は営業損失( )	140,009	175,063	729,444	400,142	1,164,641	(894,228)	270,413

## (注) 1. 事業区分の方法

事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

## 2. 各事業区分に属する主要な内容

映像関連 .....映画営業・映画興行・ビデオ事業・テレビ・その他映像に関するもの

演劇 .....演劇製作・演劇興行に関するもの

不動産 .....保有不動産の賃貸・運営に関するもの

その他の事業.....劇場売店・貸衣裳・清掃事業・舞台大道具製作・その他

当第1四半期連結累計期間(自平成22年3月1日至平成22年5月31日)

	映像関連 (千円)	演劇 (千円)	不動産 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	12,102,636	6,978,914	2,918,937	1,568,618	23,569,106	-	23,569,106
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	36,083	36,322	71,536	974,137	1,118,079	(1,118,079)	-
計	12,138,719	7,015,237	2,990,473	2,542,755	24,687,186	(1,118,079)	23,569,106
営業利益又は営業損失( )	170,313	857,545	1,984,114	266,185	2,937,532	(705,259)	2,232,272

## (注) 1. 事業区分の方法

事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

## 2. 各事業区分に属する主要な内容

映像関連 .....映画営業・映画興行・ビデオ事業・テレビ・劇場小売・その他映像に関するもの

演劇 .....演劇製作・演劇興行に関するもの

不動産 .....保有不動産の賃貸・運営に関するもの

その他の事業.....貸衣裳・清掃事業・舞台大道具製作・その他

## 3. 事業区分の変更

従来、事業区分につきましては、映画劇場売店を「その他の事業」で区分しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より映画劇場小売として「映像関連」に変更いたしました。

当企業グループは、新宿ピカデリーをはじめとするシネコンの拡大により、映画劇場小売の重要性が増したため、性質の類似性や管理組織との関連性を加味して、事業内容をより適切に開示するために、事業区分の変更をいたしました。

なお、前第1四半期連結会計期間の事業の種類別セグメント情報を、当第1四半期連結会計期間において用いた事業区分により区分すると次のようになります。

## 前第1四半期連結累計期間(自平成21年3月1日至平成21年5月31日)

	映像関連 (千円)	演劇 (千円)	不動産 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	14,632,096	5,979,087	1,612,822	1,537,940	23,761,946	-	23,761,946
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	33,984	14,777	75,914	901,057	1,025,734	(1,025,734)	-
計	14,666,080	5,993,865	1,688,737	2,438,998	24,787,681	(1,025,734)	23,761,946
営業利益	18,352	175,063	729,444	236,995	1,159,856	(889,443)	270,413

## 〔所在地別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間(自平成21年3月1日至平成21年5月31日)

当社の連結子会社は全て日本国内に所在しており、また、在外支店がないため、該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成22年3月1日至平成22年5月31日)

当社の連結子会社は全て日本国内に所在しており、また、在外支店がないため、該当事項はありません。

## 〔海外売上高〕

前第1四半期連結累計期間(自平成21年3月1日至平成21年5月31日)

海外売上高が、連結売上高の10%未満で重要性がないため、記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自平成22年3月1日至平成22年5月31日)

海外売上高が、連結売上高の10%未満で重要性がないため、記載を省略しております。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成22年3月17日を払込期日とする第三者割当増資により、当第1四半期連結会計期間において資本金が3,072,560千円、資本準備金が3,064,600千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において資本金が31,216,255千円、資本準備金が26,133,161千円となっております。